

Tsukasa Kato Fieldwork Seminar

3回生

イベント班

ゼミで作成した情報誌の「Hey Siri!」の応募者に向けた商店街グッズとして、本に挟める「河内木綿の栞」を手作りした。今回、東大阪市内にある工房のご協力を得て、河内地方の手織り木綿を使用している。写真でも分かるように、可愛らしいクマの形やデザイン、柔らかな手触りが魅力的である。この魅力が子供を中心に伝わり、河内小阪商店街の活性化を進めることで、本に馴染みのある河内小阪で読書や地域への関心を高め、地域活性化に繋がりたいと考えている。



空き店舗班

ゼミで作成した情報誌の「Hey Siri!」で地域の店舗を募集して投稿してくれた人への特典として、「アンブレラマーカー」を作った。デザインするにあたって、あえて顔なしのデザインにすることで、顔を自分でデザインすることができるようにした。そうすることで十人十色のデザインになり、すぐに自分の傘だと分かる。アンブレラマーカーを通して、会話の種になり、人と人が繋がっていけばいいと考える。



情報発信班

年末開催予定の小阪商店街のイベントに向けて活動した。商店街周辺の子供をターゲットに、抽選会やエコバッグ作りを実施し、可能な限り商店街内で物資を調達して、地域活性化を目指している。

さらに、Googleマイビジネスを用いて現在マップに掲載されていない商店街の店舗を、掲載できるようにしようと考えている。そのために、まずは地図上にない店舗がどのくらいあるのかを調べていく。



2回生

河内小阪周辺地域の衰退を目の当たりにし、4つのグループに分かれて活性化案を練っています。

コロナ禍で予定通り活動出来ていないグループもありますが、「こーばへ行こう」の出店などを積極的に考え活動中です!

イベント班

イベント班は、老若男女問わず地域の方々に向けた夏祭りを計画した。企画内容としては、かき氷などの出店やステージ企画案を考えている。ステージ企画案では、地域のダンス部や吹奏楽部に出演協力を依頼することで、商店街の活性化を促すと考えている。



情報発信班

情報発信班はチラシを作り情報発信を行うことで活性化に繋がると考え、まずは実際に河内小阪商店街へ向かい、インターネットやSNSでは見つけられなかったお店をいくつか発見することが出来た。現在はその中から3店舗ほどピックアップし、2月のバレンタインデーのイベント特集をオリジナルのチラシに掲載することを目標として活動している。

空き店舗班①

河内小阪商店街の利用者は大半がシニア世代であることに気付き、空き店舗を利用して若者向けのクレープ屋を出店することにした。このクレープ屋を出店することで、老若男女を問わない商店街になると共に、空き店舗の有効活用に貢献できると考え、味や出店場所、メニューなどを話し合っている。

空き店舗班②

河内小阪商店街が地域のコミュニティとなって、高齢者と子供の交流ができる場となって欲しいと考えた。しかし実際に河内小阪商店街に行ってみると、子供の利用者が少ない現状を知った。子供達に商店街に来てもらうことで、世代を超えて商店街が賑やかになり活性化に繋がると考え、空き店舗を利用して高齢者と子供に食を通じた交流ができる、うどん作り体験を企画している。

11月19日と20日に"モノづくりのまち"東大阪の魅力を知ってもらうために開催されるイベント「こーばへ行こう!」にも参加しています!

イベントの詳細な内容についてはQRコードをチェックしてみてください。

